

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 5・6 教科・領域 国語（書写） 単元・題材等 毛筆指導・支援（書き初め）

単元・題材等の目標 字配りで注意することを理解して書き初めを行う。

○活用できる学校外の人材と内容等

毛筆を得意とする地域の人など

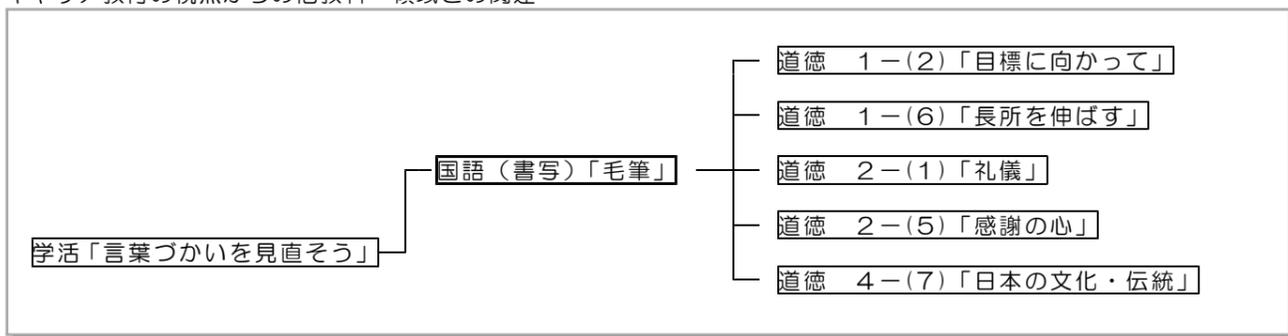
*来校してもらい、教師とのチームティーチングで毛筆の指導や支援をしてもらう。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

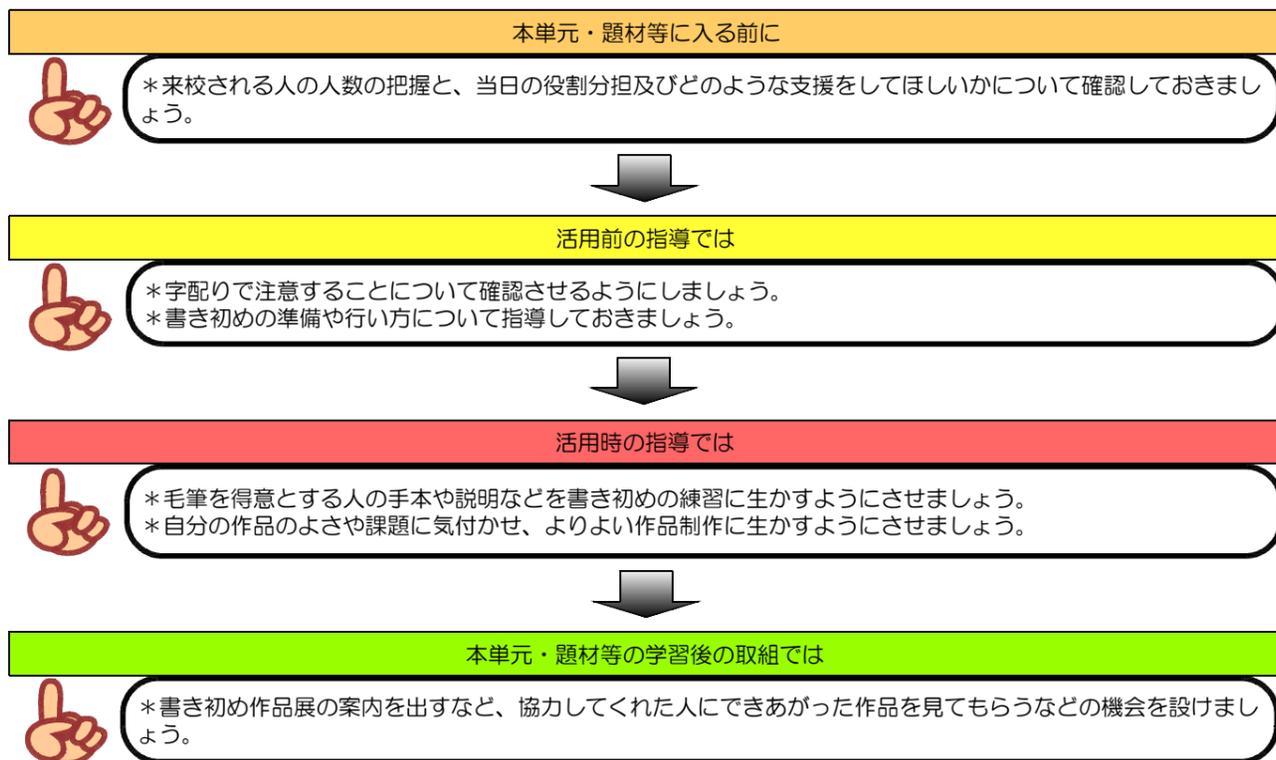
*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・自分が得意とするところ、直した方がよいところに気付き、自分らしい作品を仕上げる。【**自他の理解能力**】
- ・自分の作品がよりよくなるための情報を得る。【**情報収集・探索能力**】
- ・書道を得意とする人、趣味や仕事としている人がいることが分かる。【**情報収集・探索能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

- ①字配りで注意することを確認しよう
- ◆字配りについて話し合い、気を付けることを確認する。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の手本を見て、字配りについて話し合い、気を付けることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毛筆での練習に入る前に、字配りのポイントや気を付けることなどを意識するようにさせる。
<p>文字の大きさ、中心などの位置で気を付けることが分かりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書き初めの準備や行い方等について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次時の書き初めを行う事前指導を行う。

評価の観点 ・書き初めをする文字の字配りで注意することが分かる。

活用時の指導

- ②書き初めをしよう
- ◆字配りを確かめながら書き初めを行う。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●書き初めの準備をし、来校された人にあいさつをする。 ●書き初めをする際の注意事項を知る。 ●字配りなど、書き初めの文字を書く上でのポイントを知る。【情報収集・探索能力】 ●書き初めの練習をする。 ●上手に書くためにどのようにしたらよいかを質問し、指導を受ける。【情報収集・探索能力】 ●作品を見て、上手に書けたところ、直した方がよいところを見付け、発表する。【自他の理解能力】 ●終わりのあいさつをして、片付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書き初めの準備をさせ、来校された人を紹介し、あいさつをさせる。 ○書き初めをする際の注意事項や行い方を指導する。 * 教員と来校された人とのTTで行うことが考えられる。 ○教員または来校された人が手本を見せながらそれぞれのポイントについて説明する。 ○練習の間は、分担をしながら児童の間をまわり、適宜指導や支援を行う。 ○自分の作品、友達の作品を見て、よく書けているところ、直したいところを挙げさせる。 ○お礼のあいさつをさせ、片付けをしっかりとさせる。
<p>ここところが上手に書けないのですが。</p> <p>一人一人順番に見てもらって、アドバイスをもらいましょう。</p> <p>自分はここがよく書けたと思います。こちらも同じように書くにはどうしたらよいでしょうか？</p> <p>自分の作品や友達の作品を見て、気付いたことを挙げてみましょう。</p> <p>今日は、書き初めの指導をありがとうございました。</p>	<p>自分のお礼のあいさつをさせて、片付けをしっかりとさせる。</p>

評価の観点 ・字配りのポイントが分かり、書き初めの作品に生かすことができる。
・自他の作品のよさに気付き、そのよさを生かした作品に仕上げることができる。